

雑感

失敗するからこそ

3学期のテーマ発表会の日、ある女の子がつぎの言葉で彼女の発表を締めくくりました。「今回は実験を全部で6個やりました。でも、そのうちの4個が失敗しました。私は全部成功してやったー！となるよりも、失敗するからこそ、次はこうした方がいいのではないかとか、いろいろ角度から学べるのではないかとか、と思いました。」

「失敗するからこそ」。この言葉を耳にしてから、私自身が学校の中で子どもたちに「失敗させないように」先回りした声かけやサポートをしてこなかったかな、失敗したり試行錯誤したりするチャンスを摘みとったことはなかったかな、という思いがふと頭をよぎりました。

こどもの森では、子どもたちが自身を考えチャレンジすることや、人と協力してものごとを進めることが多くあります。そして時に思った通りに進まないことや、人と協働する時にうまくいかなくて悩んでいる場面を見かけることもあります。

そんな時、子どもたち自身が手探りしながら修正していく様子や、話し合いで課題を解決していく姿を目にする度に、はじめからうまくいかないことで子どもたちの中に新しい発見やより豊かな学びが生まれてくることがあることを知りました。

オランダのイェナプラン教育では、学校は「未来の市民社会で生きる練習の場」と言われています。社会に出る前に、学校という共同体の中で自分を表現することや何かにチャレンジすること、自分自身を知っていくこと。そしてみんなとの協働を通して、人とともに生きていくことや、自分も人も大切にすることはどうということなのかを知っていく練習の場ということなのかかもしれません。そのためには自分と、そして誰かの試みも失敗もお互いに尊重しあえることが大切だと感じています。これからも子どもたちが安心して自分を表現し、経験を重ねていける学び場づくりに努めていきたいなと思います。(高原)

各種イベントのお知らせ(4月~8月)

子育てカフェ

「子育てハッピーアドバイス」のエッセンスをお伝えする子育てカフェです。

【実施日】

- 第1回 4月20日(水)
第2回 5月18日(水)
第3回 6月15日(水)
第4回 7月13日(水)
(第5回以降も毎月1回開催予定)

【時間】10:30~12:00

【場所】箕面こどもの森学園

【講師】守安あゆみ・坂本鶴子(子育てハッピーアドバイザー)

【対象】子育てに関心のある方

【参加費】500円

【定員】10名(3名以上で開きます)

【申込】電話、FAXまたはメールで箕面こどもの森学園まで

教育カフェマラソン

さまざまな分野の方を話題提供者にお招きし、教育について語り合います。学校教育だけにとらわれず、子育てや地域・まちづくりなど、幅広い視点で考えたいと思います。

【第41回】4月22日(金)ドレイク森松さん(女子プロレスラー&介護職員)

第42回以降の情報はこどもの森Facebookページをご覧ください。

https://www.facebook.com/kodomonomorigakuen

【申込】電話またはFacebookから

土曜親子クラスがスタートします!

小さい子どもの心や体の成長に必要な生活リズムを大切にしたい子どもの時間と、子育てカフェや手仕事をしながらほっこりする大人の時間、子どもも大人も自分を大切にゆったり集える居場所づくりを目指します。

【対象】

3歳~就学前のお子さんとその親

【開催期間】

2016年6月~2017年3月
月2回(土曜日)の9:30~13:30
(8、12月は月1回)

【内容】

子ども...室内自由遊び、にじみ絵、おやつ作り、散歩、おはなしなど
大人...子育てカフェと手仕事の会をそれぞれ各月1回開催(8、12月は除く)

【場所】箕面こどもの森学園

【申込】箕面こどもの森学園まで

イエローシート・キャンペーン

毎月11日にイオン箕面店で黄色いシートを集めると、領収書の金額の1%がキャンペーンに参加したNPO法人に、年に一度イオンから寄付の贈呈があります。今やこれは子どもの森の教材購入の貴重な財源の一部になっています。(昨年度本活動で得られた金額は78,200円)昨年9月からは、毎月のキャンペーンに保護者有志の方々が参加されるようになり、お買い物以外にも活動協力がいただけるようになりました。(松崎)

こんな学校に出会いたかった!!
♪箕面こどもの森学園 生徒募集♪

2016年度の小学部・中学部の生徒募集をしています!自分も人も大切にしながら、いきいきと学べる学校に入学しませんか?



募集期間:2016年度(随時)

募集人数:

小学部:2年生、4年生、5年生(女子のみ)
各学年若干名

中学部:1年生 若干名

見学日:

月・水・木曜日(事前申込みが必要)

体験入学:

見学の後、小学部は5日間、中学部は8日間の学習体験をしていただきます。

入学面接:ご相談の上で日程を決めます。

※見学、入学ご希望の方は学園事務局へご連絡ください。

TEL&FAX 072-735-7676

メール info@kodomono-mori.com



アクセス:阪急北千里駅から北へ徒歩15分

:小野原バス停から徒歩20分。

:小野原南バス停から徒歩5分。

《編集後記》

新学期には15名の生徒たちが新しく学園にやって来ることになりました。今まで以上に賑やかで、美しいこどもの「森」になりそうととても楽しみです。少しずつ、「こどもの森」と育ってほしいです。(日置)



入学と進級を祝う会

過去最多の15名の新入生を迎え、新たな1年がスタートしました。4月8日、春めいた暖かさの中、入学と進級を祝う会を行いました。在校生に手を引かれ入場する新入生。手作りのコサージュをプレゼントし、歌やゲームなどの出し物があり、たくさんの笑顔があふれました。子どもたちからは「今年は自分の生きる道を決めていきたい」「仕事をやりたい」「かずをがんばる」という意気込みを聞くことができ、さらなる成長を感じました。保護者、スタッフも大幅に増えて、より豊かな学校という「森」をつくって行けるのだろうと思います。一人ひとりが、共に森をつくる「木」としてどんな風に成長し、関わり合っていくのか、とても楽しみです。(中尾)



学びのあしあと
~中学部初年度を振り返って~

「学ぶと生きるをデザインする」を掲げて始まった中学部の初年度。集まった7人が「対話して協働する」姿がたくさんありました。共同プロジェクトでは、分担して協力し、新校舎に必要なものの制作、1から旅行を企画して実行、遊び小屋の建築とそれに関連した映画作りにチャレンジしました。長くて疲れる話し合いにも粘り強く取り組みました。

ワールドオリエンテーションのテーマ学習では、「私の物語」のテーマで自分を深く見つめなおした1学期から、2学期には「食」、3学期は完成した新校舎で「防災」をテーマにした社会課題まで広く取り組み



ました。本やインターネットの2次情報だけでなく、漁港や畑に出かけたり自分で実験したりという1次情報にも積極的にアクセス。更にそれぞれの学びをシェアして学びを深めていきました。

基礎学習は、それぞれのペースで中学1年生の内容を学び切ろうと計画を立てて学習し、個人のプロジェクトは料理や木工などと共同体の中で役割を果たすこと、その2つが実ってきているのを感じます。年度末のお披露目会では、寄付をいただいた方々に堂々と発表し、学びの成果と感謝の気持ちを伝えました。

2年目は、いよいよ自分の人生をデザインし、未来を切り拓いていくべく、外の学校に学びに行ったり、海外の学びに触れたりする予定です。これから更にどんな風に成長していくのか楽しみです。(佐野)

テーマ学習「防災」
体験、学習、発表会をもちました

3学期のテーマ学習は「防災」でした。2学期の終わりのオリエンテーションから始まり、冬休みの間には防災ミッションと題した災害に関する情報集め、3学期のスタートで阿倍野防災センターにおいて、災害研究所の伊永さんの話を伺い、地震の揺れや火事など災害の状況を実際に体験しました。子どもたちが災害ということを身近に意識した中で、今回は低学年と高学年、中学部という3グループにわかれて、低学年は防災ハンドブック作り、高学年はさら

発行日:2016年4月15日
発行者:認定NPO法人 箕面こどもの森学園
〒562-0032
大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail info@kodomono-mori.com
URL http://kodomono-mori.com

にいくつかの班を作った上で、こどもの森災害対策チームをつくりました。

中学部は、「地震のメカニズム」や「ボランティア活動について」など7人がそれぞれ関心のあることを調べました。

学校全体で避難訓練もおこなって、消火器の使い方や消防士の方のお話も伺いました。そして3月の「知っておこう!私たちの未来と防災展」と題した発表会では、一般の方にも呼びかけて、たくさんの方に成果を見てもらう機会がもてました。(藤丸)

卒業を祝う会:「おめでとう」の
あたたかな雰囲気にもまれて

3月22日、よいお天気に恵まれ2015年度卒業式が行われました。手作りで飾り付けされたホールに、在校生や保護者の方、スタッフに迎えられて恥ずかしそうにこやかに入場してくる4人の卒業生たち。こどもの森では好きなことをとことん追求してきた彼ら。しかし小学部での時間は楽しかったことばかりではなく、人とコミュニケーションをとることや協力すること、チャレンジすることなど、様々な葛藤を経験する中で彼らの学びも多くありました。ここでの学びはきっと、今後の彼らの強い支えになっていくことと思います。

式の後には、在校生による卒業を祝う会。この日の為に秘密で準備をしてきました。歌やビンゴ、マジックショーやクッキーのプレゼントなど「おめでとう!」の気持ちがたくさん詰まったあたたかい時間になりました。(福田)



【小学部】

《自由作文》

STAR.WARS をみたこと

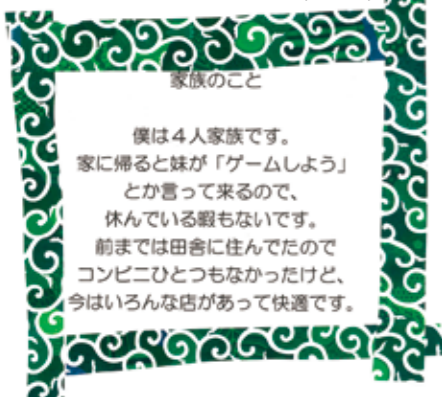
みなと（2年）



ぼくは STAR.WARS をみました。とてもおもしろかったです。

家族のこと

かずま（4年）



【中学部】

《日本語共同》

日本語共同では、子どもたちが決めたさまざまなお題で哲学をしています。

2学期は、「サンタクロースって本当にいるの？」をテーマに、みんなが体験したことやその時の気持ちなどいろんな話を出しあいました。

今から120年近く前の1897年に、バージニアという8歳の女の子から「サンタさんはいるの？」という質問の手紙にサン新聞社の記者が社説で答えたという話が伝えられています。

日本語共同ではバージニアちゃんの手紙に返事を書きました。

バージニアちゃんへ

私はサンタクロースを信じています！ たとえ、友達が「サンタクロースはいないよ」と言っても、お父さんに「サン新聞にいと載ればいるよ」と言われたとして載っていないか、がっかりしてはいけませんよ。自分がいると思えばいい。いないと思えばいい。バージニアちゃんにはプレゼント、届くでしょう？もし確実に信じられないのなら、自分の中で「いる」「いない」に分かれてみてください。そして、どちらの意見を出してみてください。そしてバージニアちゃんの本当の気持ちを信じて下さい。

私は陰で、やさしく、子どもたちを愛しているサンタクロースはいると思います。お手紙ありがとう。(サン新聞の紫瑛里より)

サンタクロースがいるか、いないかは人それぞれだと思います。だから本当にいるのかを決めるのは、自分の心だと思います。

他人の意見にまどわされずに、自分の意見を持つのが大切だと思います。

(サン新聞記者 辻岡素直)

絵・みなと

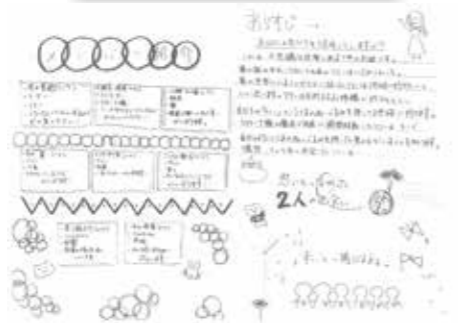


《プロジェクト紹介》

手をつなごう部

ほのか・みずき・ほの香・すみれ・りか・かの・りゅうのすけ・たくみ

"手をつなごう部"という放課後クラブの発表をしました。歌あり、ダンスあり、台本も自分たちで作った本格的な演劇でした。(中尾)



NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を！

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

- ◆正会員になる (年会費 3,000 円)
◆賛助会員になる (年会費 3,000 円)
◆資金・資材を寄付する
◆情報・労力を提供する

振込先：加入者 NPO 法人箕面こどもの森学園
<郵便払込> 00980-7-232403
<郵便口座振込> 14020-68190721
<銀行振込>

ゆうちょ銀行四〇八支店(普) 6819072
池田泉州銀行小野原支店(普) 72258

※会員になられる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。学園ホームページからも申込みます。

TEL&FAX : 072-735-7676
e-mail : info@kodomonono-mori.com
URL : http://kodomonono-mori.com

《プロジェクト作品ギャラリー》



戦車 (南谷一慧)



モビール (長井桜彩)



絵・くまちゃめ
ドイツ旅行 (松尾千穂)

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動 1月～3月

ロハス in こどもの森 2016
～卒業生の雑貨店も出店しました～

3月12日(土)、「ロハス in こどもの森 2016」を、多くの会員の皆様のご協力のもと、開催しました。幸い好天に恵まれ、今年のテーマである「ほっこり、ゆるり、はるまつり」にふさわしい一日となりました。

今回、出店いただいた個人・団体は20超。いつも参加して下さる方々に加え、今回初参加の方々も多く、一層バラエティ豊かになりました。なんと卒業生が、手作り品の雑貨店を開いてくれたり、ミュージックライブで唄ってくれたり！ 学園の歴史の積み重ねの一端を垣間見、とても嬉しく感じました。



卒業生のお店

連絡不行届きや限られたスペース等々、いろいろご無理をきいて頂きながら出店していただいた皆様、本当にありがとうございました。総入場者数は230人。ポスティングされていたチラシを見て、とか、公園にたまたま遊びに来たついでに、という方々もいらっしゃり、このイベントが当法人を知る良いきっかけになればと願います。ホスト・ゲストの別なく、笑顔に溢れた素敵な時間が流れました。(道)



今年度はたくさんの助成金をいただきました！

箕面こどもの森学園では、さまざまな助成金を申請しています。昨年から今年にかけて、4つの助成金をいただくことができました。

まず、アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム。子どもたちの「防災」に関する学習で使用しました。続いて、ユネスコスクール ESD アシストプロジェクト。これは、「畑づくり」に関する学習で使用する予定です。

また、阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 市民団体助成プログラムからもいただきました。これは、子どもたちの学習環境を整えたり、本学園の活動全般に使用する予定です。

さらに、日韓文化交流基金 人物交流助成。こちらは、中学部の子どもたちが韓国に研修にてかける際のさまざまな費用として使用したいと考えています。

このようなあたたかいご支援のおかげで、子どもたちの学習環境を整えていくことができます。本当にありがとうございます。(藤田)

第3回これからの子育て・教育を考えるフォーラム
～子育ても教育もいろいろあっていい～

2月28日、箕面こどもの森学園も協賛している「これからの子育て・教育を考えるフォーラム」がI-Site なんばで開かれました。

このフォーラムは、多様な教育(オルタナティブ教育)のことを一般の人たちにも知ってもらおう目的で、毎年行なわれているものです。午前中「多様な学び場への参加と運営」という分科会が開かれ、午後からは「子育ても教育もいろいろあっていい」というテーマで、ノンフィクション・ライターの北村年子さんのお話がありました。ホームレスの人たちを支援する中学生の活動のビデオを見た後、こどもの自己肯定感を育てるには、「人はみな不完全。それでいいんだよ」と受容し、「自分は自分であっていいんだよ」という気持ちを持たせることが大切なんだということ北村さんが熱く語られました。

その後、3つの分科会があり、その1つの「多様な学び場紹介&座談会」では、本学園スタッフが箕面こどもの森学園の活動を紹介しました。(辻)

《スタッフ紹介》

2016年度のスタッフ体制

今年度は、常勤スタッフ5名、専任スタッフ2名、非常勤スタッフ3名、学習サポーター2名、事務スタッフ2名、校務スタッフ1名、用務スタッフ1名、撮影スタッフ1名、インターン6名の体制で、学習支援・事務・校務などを担当します。なお、年度途中での担当者の増減もあります。定期的にお願する特別講師は、江角陸さん(科学実験)、道端慶太郎さん(空から蝶)、大北沙織さん(音楽)、林浩三さん(しぜん)、茂木一さん(絵を描こう)です。新しいスタッフのみなさんとも、力を合わせて、市民が創る学校づくりを一步一步進めていきたいと思っています。よろしくお願します。(藤田)

Table with 2 columns: 職名 (Job Title) and 名前 (Name). Lists staff members like 学园长 (校長), 常勤スタッフ (常勤スタッフ), etc.